

福島経済マンスリー

12月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 2016年12月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では3カ月ぶりで前年を下回った。一方、新車登録台数は2カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数、請負金額がともに3カ月ぶり、保証金額が4カ月ぶりでいずれも前年を上回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数、床面積、工事費予定額がいずれも2カ月連続で前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は6カ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、持家が2カ月ぶりで前年を下回ったものの、分譲が2カ月連続、貸家が6カ月連続でいずれも前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が3カ月ぶりで上昇したが、前年比が12カ月連続で下降した。業種別の前月比をみると、16業種で上昇したが、3業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.02ポイント、原数値が前年同月比△0.02ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△3.9%となった。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は11月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2016年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.3	△ 1.8	△ 2.0	0.8	0.4	P △ 1.3
	乗用車新車登録台数	1.5	2.1	△ 0.6	△ 0.7	3.9	12.8
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 24.3	77.1	59.8	△ 6.8	△ 24.1	79.9
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 32.2	△ 40.0	△ 32.2	4.6	△ 52.5	△ 21.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	18.9	29.4	3.3	19.6	13.6	4.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 10.4	△ 2.6	△ 1.8	r △ 6.3	△ 0.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.08	△ 0.11	△ 0.11	△ 0.02	0.00	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 6.7	△ 0.6	△ 4.1	△ 2.7	△ 2.0	△ 3.9

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2016年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	5.6	0.9	△ 10.8	8.6	△ 1.5	P 25.4
	乗用車新車登録台数	△ 6.0	△ 18.7	40.5	△ 14.4	9.6	△ 5.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 45.8	110.6	△ 23.1	△ 19.0	△ 33.1	87.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 32.2	△ 13.6	50.8	222.6	△ 72.2	24.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	13.7	2.0	△ 15.4	20.2	△ 19.6	11.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 3.4	3.8	△ 1.8	r △ 1.7	3.2	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.03	△ 0.05	0.00	0.07	0.05	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 1.4	5.8	△ 6.0	△ 5.4	△ 5.1	△ 3.7

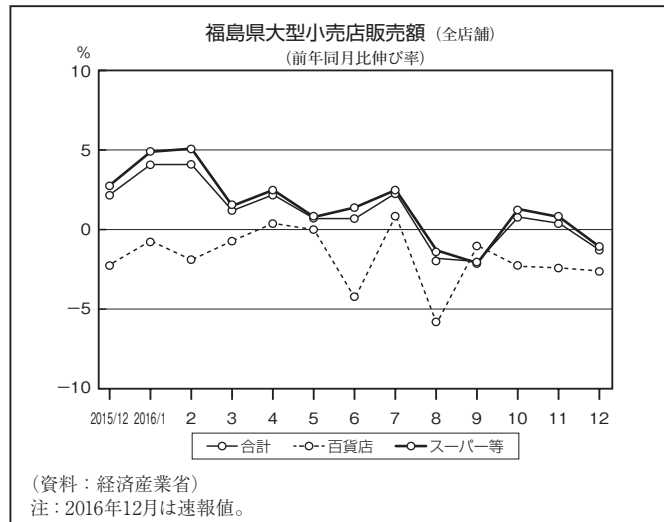
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

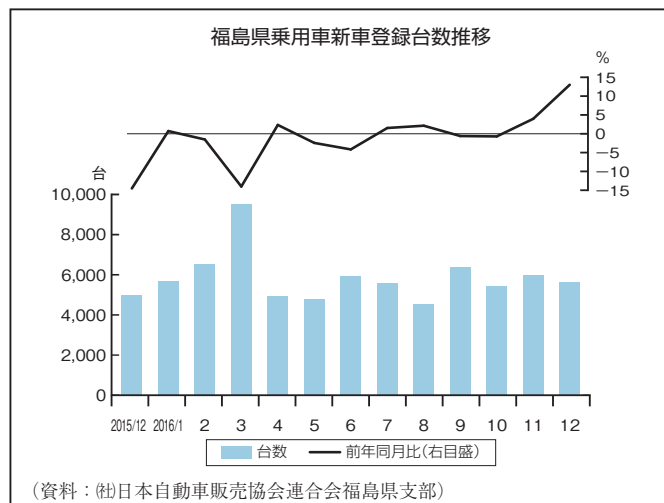
大型小売店：3カ月ぶりで前年比減

12月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース、速報値）は、合計で256億19百万円（前年同月比△1.3%）と3カ月ぶりで前年を下回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△2.6%となった。また、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品などが前年割れしたことから、合計では同△1.1%となった。



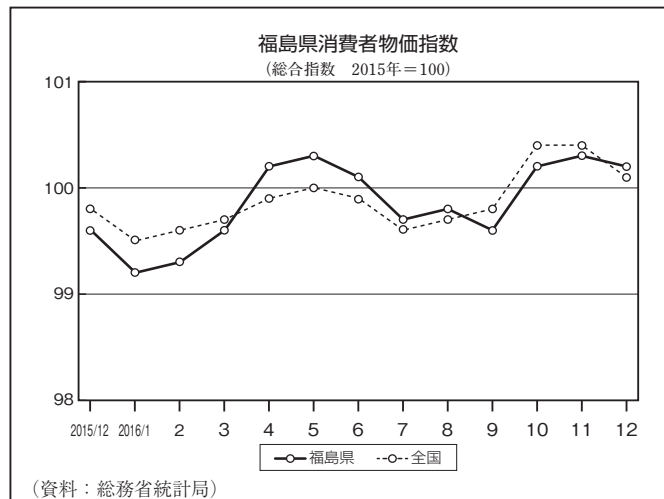
乗用車販売：2カ月連続で前年比増

12月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,634台（前年同月比+12.8%）となり、2カ月連続で前年を上回った。車種別でみると、普通車は1,529台（同△9.8%）と9カ月ぶりで前年を下回った。一方、小型車が1,888台（同+15.7%）と2カ月連続、軽乗用車が2,217台（同+32.9%）と5カ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



消費者物価指数：前年比で上昇

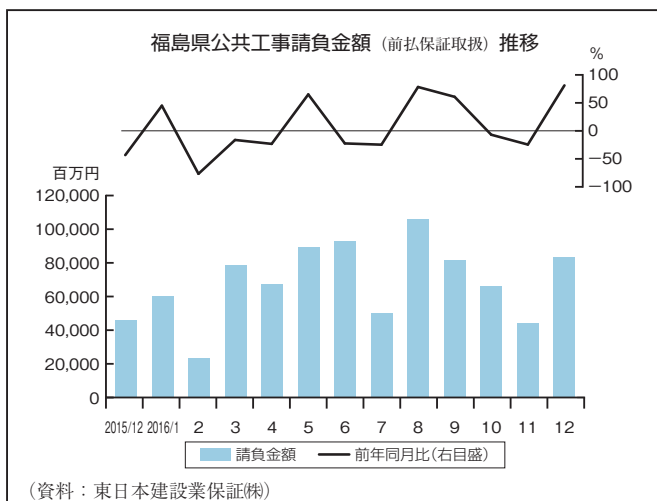
12月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）でみると、100.2で前年同月比+0.6%、前月比0.0%となった。費目別に前月比でみると、「被服及び履物」が103.4（同△3.1%）など6費目で下降したが、「光熱・水道」が92.9（同+2.1%）など3費目で上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は3カ月ぶりで前年比増

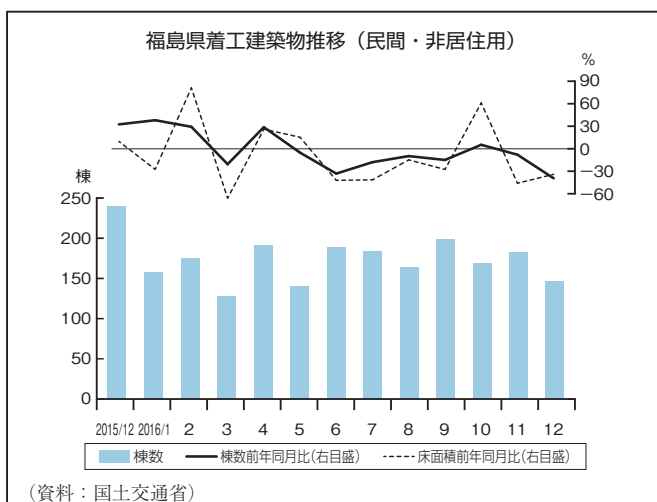
12月の公共工事前払保証取扱は、件数が587件（前年同月比+2.1%）、請負金額が836億90百万円（同+79.9%）とともに3カ月ぶり、保証金額が421億80百万円（同+65.5%）と4カ月ぶりでいずれも前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2カ月連続で前年比減

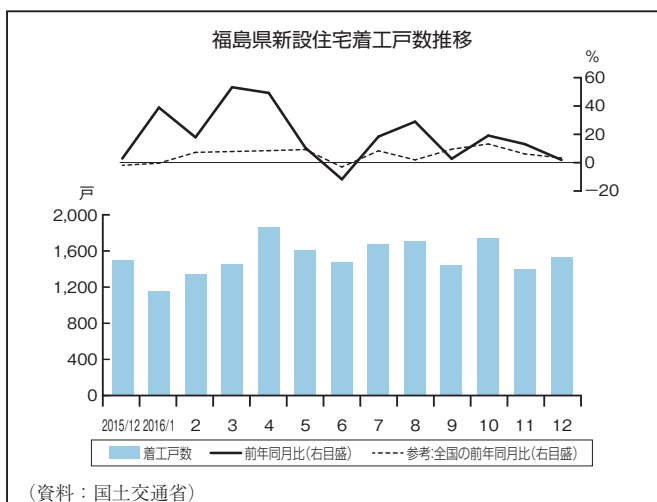
12月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が146棟（前年同月比△39.2%）、床面積が51,469㎡（同△33.9%）、工事費予定額が126億2百万円（同△21.4%）といずれも2カ月連続で前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：6カ月連続で前年比増

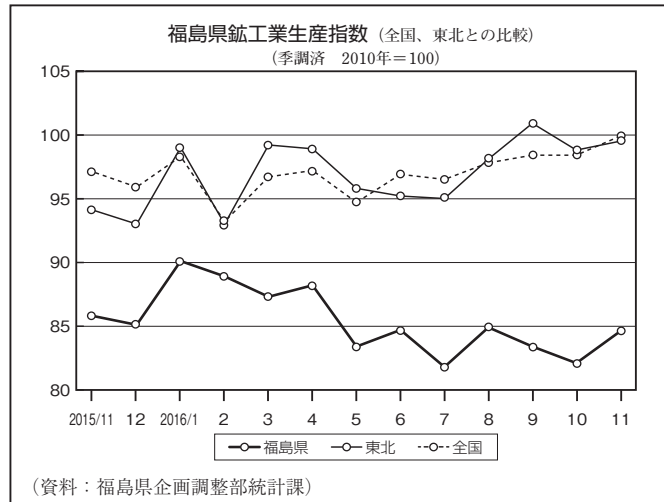
12月の県内新設住宅着工戸数は、1,563戸（前年同月比+4.3%）と6カ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が555戸（同△10.5%）と2カ月ぶりで前年を下回ったものの、「分譲」が192戸（同+8.5%）と2カ月連続、「貸家」が816戸（同+16.7%）と6カ月連続でいずれも前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比が下降、前月比が上昇

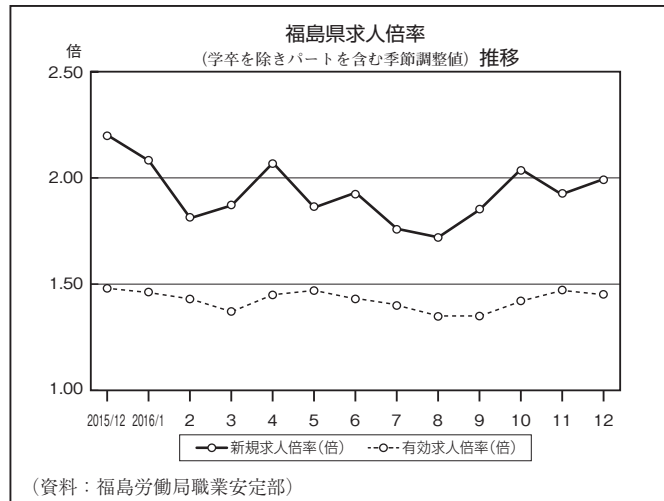
11月の鉱工業生産指数は、84.6（季節調整値）で前月比+3.2%と3カ月ぶりで前月を上回ったが、原指数が86.6で前年比△0.1%と12カ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「食料品・たばこ工業」（前月比+19.0%）など16業種で上昇したが、「電気機械工業」（同△14.7%）など3業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は前年比減

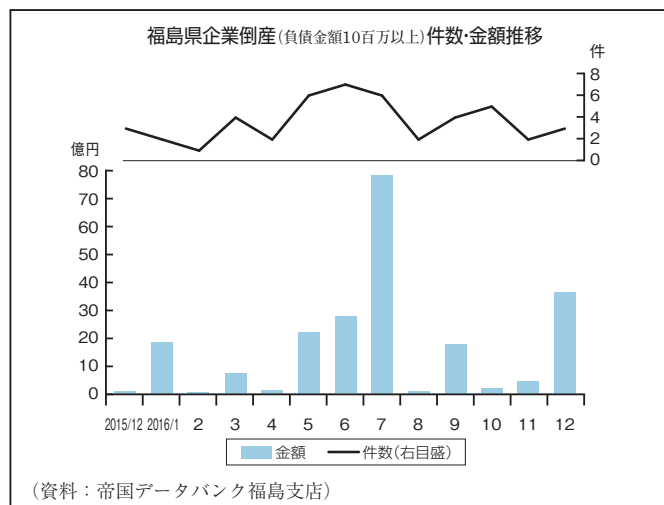
12月の新規求人倍率は、季節調整値が1.99倍（前月比+0.07ポイント）、原数値が2.15倍（前年同月比△0.12ポイント）となった。また、12月の有効求人倍率は、季節調整値が1.45倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が1.56倍（前年同月比△0.02ポイント）となった。一方、12月の雇用保険受給者実人員は5,623人（前年同月比△3.9%）で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比で大幅増

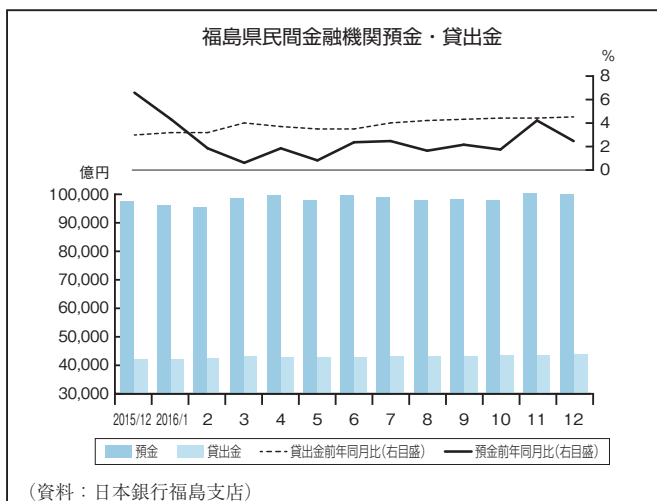
12月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比0.0%）、負債総額が36億30百万円（同+12,000.0%）と、10億円以上の倒産が2件発生したことから、負債総額は前年を大きく上回った。業種別では、サービス業が3件だった。



金融動向

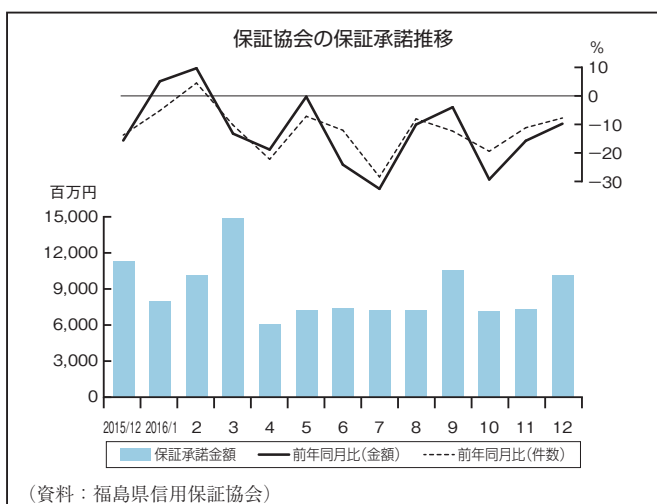
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の12月末の預金残高は、10兆148億円（前年同月比+2.4%）と9年10カ月連続、貸出金残高は、4兆4,039億円（同+4.4%）と43カ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数、金額とも前年比増

12月の保証承諾は、件数が891件（前年同月比△7.8%）、保証金額が101億47百万円（同△9.8%）となった。また、12末日現在の保証債務残高は、件数38,163件（同△10.0%）、金額3,305億46百万円（同△10.8%）となった。一方、12月中の代位弁済は、件数が60件（同+71.4%）、金額が5億17百万円（同+37.1%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電量販店 12月の家電量販店の売上高は、冷蔵庫やエアコンなどが前年を下回ったことから、合計では前年を5%ほど下回った。

ホームセンター 12月のホームセンターの売上高は、作業用品やエクステリアなどを中心に前年を下回ったことから、合計でも前年を5%ほど下回った。

旅行 12月の旅行取扱額は、国内、国外とも前年を下回ったことから、合計では前年比で20%ほど

減少した。

高速道路 12月の県内自動車道出入台数は、合計で5,280,295台（前年同月比+0.2%）と、3カ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,762,878台（同+0.5%）と34カ月連続、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,602,781台（同+0.8%）と3カ月連続でいずれも前年を上回った。一方、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は380,631台（同△0.1%）と3カ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は534,005台（同△3.0%）と2カ月連続でそれぞれ前年を下回った。

福島空港 12月の福島空港国内定期路線の利用状

況は、17,791人（前年同月比△0.6%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は3,942人（同△14.4%）、大阪便は13,849人（同+4.1%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 12月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国の関税率引き上げを見込んだ増産などから、合計では前年をやや上回る生産となった。

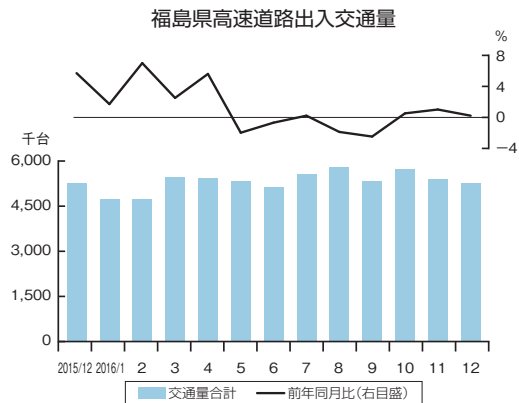
鉄鋼・金属 12月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が国内外からの受注増などから、前年を20%以上上回る生産水準となった。また、半導体向け電子材も、海外受注が下支えとなり、前年を50%以上上回る生産となった。12月の建機用鋳造品は、中国からの受注が前年を下回ったことなどから、合計でも前年を20%程度下回る生産となった。鋳鋼品の生産は、鉄道車両向けが増加したものの、船舶向けの減少などにより、合計では前年をわずかに下回った。

輸送用機械 12月の鋳造品は、トラック用では、東南アジアからの受注減などにより、合計では前年を5%程度下回る生産となった。一方、オイルシールは、国内の自動車販売市場回復の動きなどから、全体では計画を上回る生産水準を維持している。

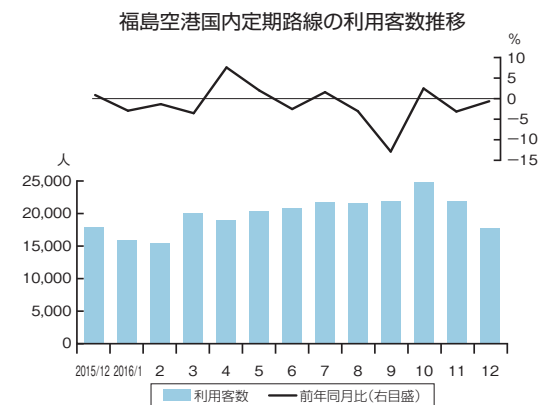
電気機械 12月の電気機械の生産は、モーターが前年を上回ったものの、変圧器および配電盤、誘導炉が前年を大きく下回ったことから、合計では前年を25%ほど下回った。

情報通信機械 12月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）、国内向けモバイル基地局とも前年を下回ったことから、合計では前年比で30%ほど減少した。

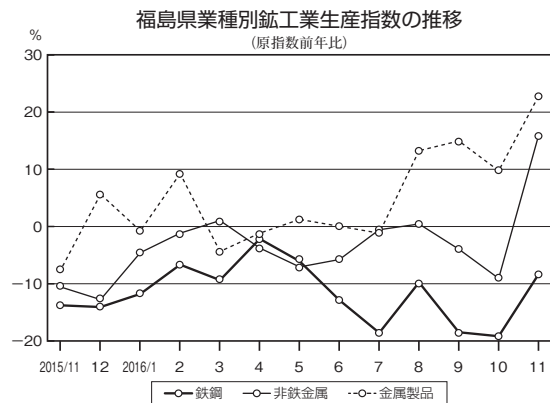
電子部品・デバイス 12月のLSI（大規模集積回



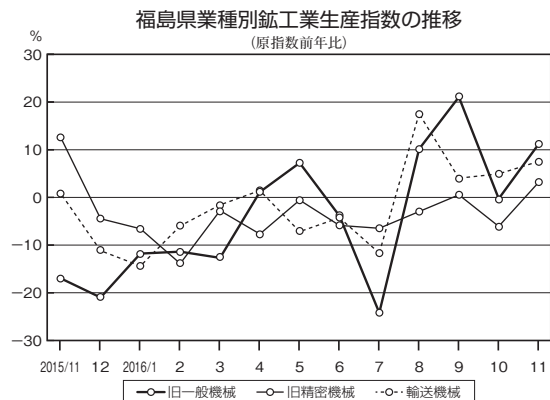
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県企画調整部統計課）

路)の生産は、受注量が回復基調で推移していることから、前年を20%程度上回る水準を保っている。

精密機械 12月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移しており、合計では前年並みの生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量がほぼ横ばいで推移していることから、全体では前年並みの生産水準となった。

窯業・土石 12月の生コンクリート出荷量は、全体で164,346m³(前年同月比△9.9%)と10カ月連続で前年を下回った。民需・官公需別にみると、民需は県北、県中、白河の3地区が前年を下回り、合計で同△9.8%となった。また、官公需も白河と会津以外の4地区が前年を下回ったことから、合計で同△18.8%となった。

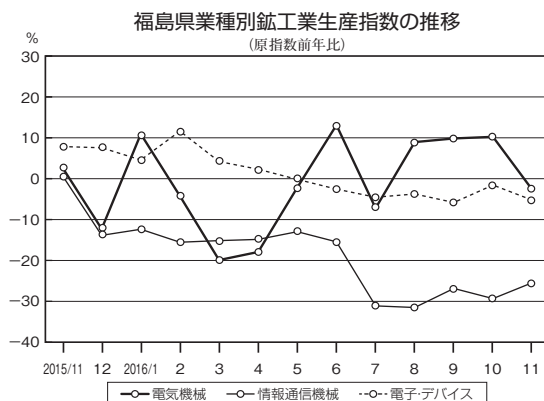
紙・紙加工品 12月の製紙の生産は、ノーカーボン紙、感熱紙とも前年を下回ったことなどから、合計では、前年を10%ほど下回る水準となった。

清酒 12月の清酒移出数量は、2,175kL(前年同月比△4.5%)と2カ月ぶりで前年を下回った。酒類別では、一般酒(特定名称酒以外の酒)が1,023kL(同△7.8%)と4カ月連続、特定名称酒(吟醸酒・純米酒・本醸造酒)が1,152kL(同△1.3%)と2カ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。

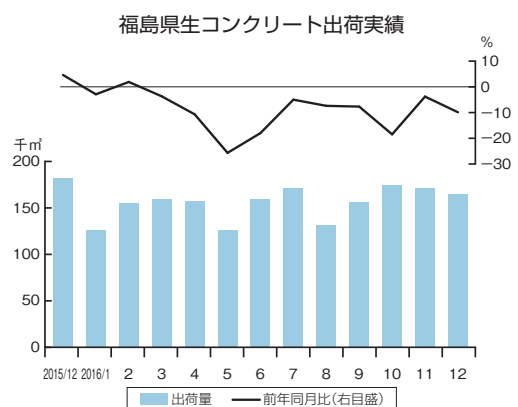
化合繊維物 12月の化合繊維物は、単価の上昇と生産量の増加により、生産額が前年比で10%ほど増加した。

ニット 12月のニットは、春夏物製品の受注量が前年を下回ったことから、生産額も前年を約10%下回った。

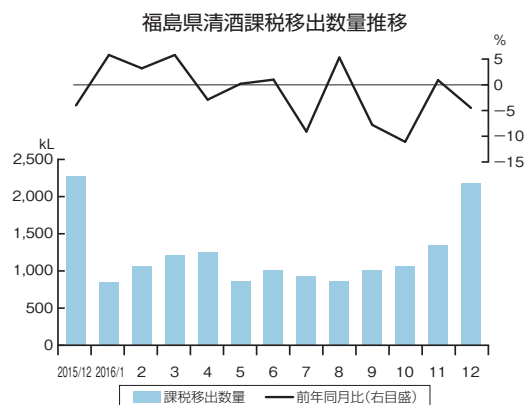
電灯電力 12月の電灯電力販売量は、1,202百万kWh(前年同月比+1.2%)となり、2カ月連続で前年を上回っている。



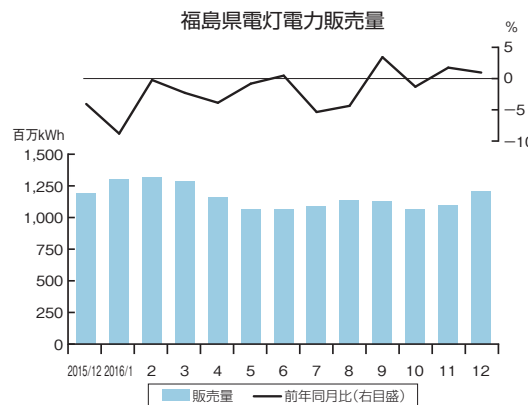
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)